

モニタリングレポート(平成26年度)

施設名	ベルホーム				
施設所在地	鈴鹿市江島町3447番地の5				
指定管理者名	社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会				
評価担当課	障害福祉課	問合せ先	059-382-7626		
施設の運営状況	(確認方法)月次報告, 年度事業報告書, ホームページ				
生活介護利用登録者 (年度末)	47名	延べ利用者数	7,358名	平均利用者数	30.2名
日中一時利用登録者 (年度末)	7名	延べ利用者数	96名		
事業収支	(確認方法)年度事業報告書				
項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)		
指定管理料	21,635,000	21,635,000	0		
利用料(介護給付費, 利用者負担, 地域生活支援事業費)	88,742,000	89,813,421	1,071,421		
その他	719,000	735,500	16,500		
収入計	111,096,000	112,183,921	1,087,921		
人件費	82,773,000	83,591,226	818,226		
事務費	18,761,000	18,321,188	△ 439,812		
福利厚生費・旅費・研修費	913,000	911,197			
消耗品費・印刷製本費・器具什器費	586,000	565,041			
光熱水費	3,632,000	3,186,253			
修繕費	964,000	963,123			
通信運搬費	404,000	405,183			
委託料(保守等)	10,232,000	10,261,727			
手数料	130,000	125,708			
賃借料	1,895,000	1,894,824			
その他	5,000	8,132			
事業費	4,551,000	4,462,158	△ 88,842		
諸謝金	203,000	202,274			
消耗品費・器具什器費	1,099,000	1,114,514			
車両費・燃料費	2,257,000	2,234,926			
損害保険料	623,000	594,439			
その他	369,000	316,005			
返還金(光熱水費分)	0	445,747	445,747		
負担金	18,000	16,000	△ 2,000		
経理区分間繰入金支出	4,555,000	4,770,910	215,910		
その他固定資産取得	1,443,000	1,441,318	△ 1,682		
支出計	112,101,000	113,048,547	947,547		
収支	△ 1,005,000	△ 864,626	140,374		

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価してください。)	月次報告書	○	適切に履行されている
	現地調査	○	適切に履行されている
	定例報告会	○	適切に履行されている
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価してください。)	アンケート	優良	要望はあるが、利用者は満足している
	現地調査	優良	利用者への支援内容は適切である
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価してください。)	貸借対照表	○	HPで公開されており、純資産がプラスである。
	年度事業報告書 (事業収支表)	×	単年度ではマイナスだが、指定管理期間全体では問題なし。
	年度事業報告書 (財産目録)	○	資産が負債を上回っている。(差引純資産がプラス)
年度業務報告書の内容評価			○ 適 ・ 不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力いずれの点においても優秀な内容である。			
定例報告会の頻度と内容の評価			○ 適 ・ 不適
月1回の定例報告を省略し、電話で済ませることもあるが、月1回から2回程度の市職員が訪問している。また、課題等について、随時意見交換を行っており、祝日の業務実施について提案があるなど必要な頻度・内容での報告会を行っている。			
緊急時の対応評価			○ 適 ・ 不適
重大な事故の発生はなかったが、業務内容から発生する事故(怪我など)への対応は適切におこなわれている。			
指定管理者の総括評価			○ 適 ・ 不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力に問題はなく、緊急時の対応も適切に行われている。利用者からの信頼も厚く、安定したサービスの提供が期待できる団体である。			
施設の課題と対策			
利用者には重度の障がいのある方が多く、体調等から休まれる方も多いため、平均利用者数が伸び悩んでいる。今後は、登録者と利用人数の実績などの把握により平均利用者の増加を図る。			
施設の方向性			
利用者からは安定した施設の運営が求められており、施設の継続は必須である。今後については、安定した運営を行いながら、指定管理以外の管理の方法等、効率的な運営を検討する。			